

山口大学医学部附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

山大病院だより

2014
6月号
vol.217



特集

あたたかい看護



Nursing



特集

真に喜ばれるケアをめざして

あたたかい看護



山口大学医学部附属病院では、「あたたかい看護の探求と実践」をキャッチフレーズに約790人の看護職員が看護を担っており、質の高い看護実践と高い患者満足度を目指しています。

看護提供方式は「固定チーム継続受け持ち制」を採用し、受け持ち患者さんとのかわりを大切にしています。

また独自の「人材育成システム」を用い、看護師のキャリア開発を支援することで、誰もが自己の成長や、やりがいを感じ、5年後の自分に夢がもてる、そんな組織づくりを目指しています。

看護部のセールスポイント

- 質の高い看護実践と高い患者満足度
- 新採用者への手厚いサポート体制
- 近い将来のキャリアアップへの支援
- 新卒看護師の早期離職率の低さ
- 働きやすい就業規則・職場風土

スペシャリストの支援・育成

本院では多くの日本看護協会認定看護師、専門看護師が活躍しています。



<専門看護師>

- 急性・重症患者看護専門看護師

<認定看護師>

- 感染管理
- 糖尿病看護
- 救急看護
- 新生児集中ケア
- 皮膚・排泄ケア
- 乳がん看護

● 集中ケア

- 摂食・嚥下障害看護
- がん化学療法看護
- 脳卒中リハビリテーション看護
- がん性疼痛看護
- がん放射線療法看護
- 日本精神科看護技術協会認定看護師
- 認定看護管理者

※次号から「ナースのお仕事」で毎回認定看護師を紹介します。

5月12日

「看護の日」 記念行事を開催しました

5月12日、外来棟ロビーにて、「看護の日・看護週間」に関連した「看護の日」記念行事を開催しました。

また、今年度から、来院された子供さんに白衣を着てもらう「小さな看護師さんコーナー」を設け、大いに盛り上がりました。



健康チェック

メイカルスタッフの協力のもと、患者さんや来院された方々を対象に、記念グッズの配布、健康チェック、医療・栄養・福祉の相談、認定看護師による血糖測定、手洗いチェック、ハンドマッサージの実践・指導などを行いました。



猪上看護部長より挨拶



小さな看護師さんも登場

就任のご挨拶



医学系研究科
 小児科学分野 教授
大賀 正一

3月1日付で、医学系研究科小児科学分野教授および病院小児科長を拝命しました大賀と申します。この度は母校に勤務するご縁をいただき光栄に存じます。

私は昭和59年に山口大学を卒業後、実家から通える九大小児科に入局しました。福岡市立こども病院などで研修し、九大生体防御医学研究所で免疫学を勉強した後、筑豊の病院で一般小児科医として勤務しました。平成3年から九大病院で造血不全症や免疫不全症のごどもたちに臍帯血移植を行ってきました。この4年間は、九大周産期小児医療学教授として、感染、免疫、血液、腫瘍、新生児など幅広い小児科の分野に携わってまいりました。最近では、小児血栓症の疫学研究などをすすめ、臍帯血移植に続く次世代の細胞療法に関する基礎研究を開始したところです。

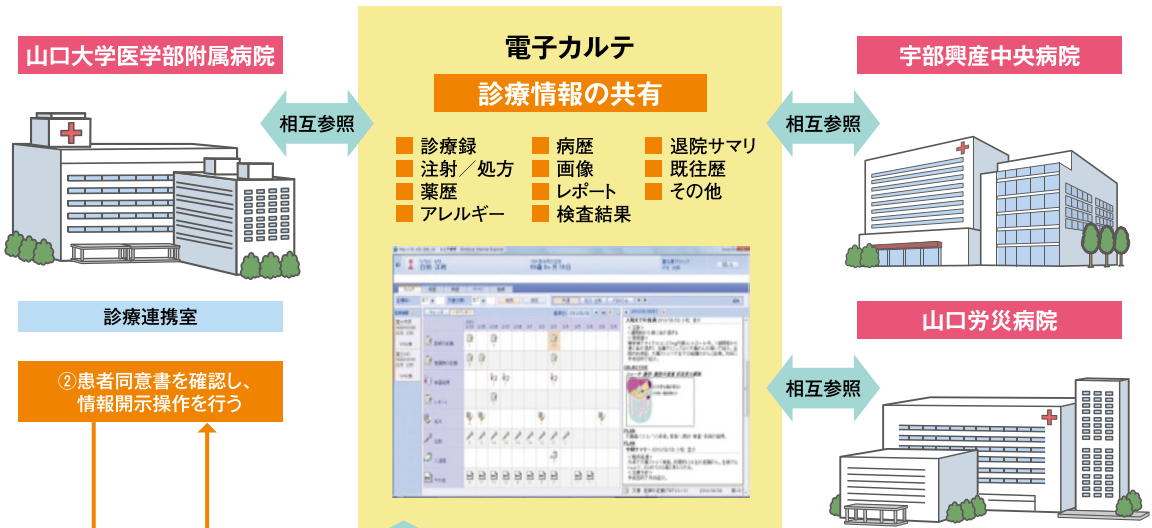
小児科はこどもたちを健やかに育むための総合診療科です。小児科医は幅広い分野に精通し、とくに大

学病院では最先端の知識と技術に基づいて診療します。新生児・心臓・血液腫瘍・神経精神・アレルギー・内分泌・腎臓、そして遺伝病など専門性の高い医療だけでなく、感染症をはじめとした一般的な病気に対してプライマリ・ケア(※)を実践します。地域の小児および学校保健の担い手として、育児相談・乳幼児健診・予防接種なども行います。また、病気だけでなく「不慮の事故」から子どもを守ることも小児科医の大切な仕事です。ご家族とともにこどもたちの成長を願って、私たちが「第一線の医療」と「最先端の医学」を実践して参ります。最新の医療を提供できる、家族がかかりたい大学病院小児科をめざしています。

30年ぶりの母校は浦島太郎です。春の風も景色も学生時代のままで、新入生のオリエンテーションでは同級生のご子息に出会い、時の流れを感じています。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※プライマリ・ケア：病初期の総合的な診療

情報の共有により、きめ細かい診療が可能に
「さんさんネット」開設



平成26年4月1日から、宇部、山陽小野田、美祿圏域において、電子化した診療情報を専用回線で共有するシステム「さんさんネット」が稼働しています。

当院と宇部興産中央病院、山口労災病院の電子カルテ情報を、患者さんの同意を得たうえで、指定された病院や診療所の端末から閲覧が可能となります。

検査データや治療経過の情報を共有することで、診療がスムーズに行われ、リハビリや再発予防などに役立つことを目指しています。



平郡診療所での
住民講習会の想い出

地域医療推進学講座
 中村浩士



平郡島は、山口県柳井市の南約20kmの伊予灘に浮かぶ自然豊かな島です。みかん作りで有名な周防大島の南側に位置する山口県最大の有人離島です。島の人口は約400人で、集落は島の東と西にあります。鎌倉時代、木曾義仲の子供、平郡丸がこの島に住んだことから島名が付けられたと伝えられます。

身の福井健彦先生が診療にあたりれています。

この島には明治から昭和にかけて、開業医の先生も断片的に在住されましたが、かつてはたびたび無医地区となった歴史があります。現在は東地区に平郡診療所があり、西地区と合わせて自治医科大学出

平郡診療所には、毎年、医学生の地域実習や初期研修の地域研修のプログラムで学生や研修医がお世話になっていることもあり、お礼も兼ねて、昨年12月に住民の方々への健康講習会のお手伝いをさせていただきました。講習会場は東地区の公民館ならびに西地区の小学校跡を使用して合計2回行いました。当日は12月にしては珍しく風



心臓蘇生講習会。もしもの時には「救いたい」気持ちでいっぱいでした。

いだ暖かい日でしたので東西両地区の移動も設営も楽に行うことが出来ました。前の週に大学からドクヘリが初飛来していたこともあり、島全体が救急医療ムードだったのも幸いでした。両講習会とも盛況で受講生の皆さんに楽しく学んでいただけたので、私たちにとても大満足の日でした。



今回で4度目の認定です 病院機能評価認定



4月4日付で、財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価（機能種別版）評価項目 3rd (Ver.1.0) 一般病院2」が認定されました。平成10年に国立大学附属病院として初めて認定を受けてから、今回で4回目の認定となります。

病院機能評価とは…

第三者機関である財団法人日本医療機能評価機構が、組織的に医療を提供するための基本的な活動が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価の結果により明らかになった課題に対し、病院は医療の質向上・効果的なサービスの改善に取り組みます。

今回の受審は、ケアプロセス（※）調査や病棟訪問などを中心に審査を受けるもので、現場の職員を中心として、患者さんの視点に立った医療の向上・サービスの改善に取り組みました。病棟・部門ラウンド、全体説明会の実施、ワーキンググループの設置など、審査に向けた様々な準備を通じて、普段は取り組みづらかったこと、気づかなかったことなど様々な内容を確認することができました。職員には大きな負担となった活動ですが、その分、病院の質が更に向上してきたのではないかと自負しております。これらの頑張りや患者さんにも評価され、患者さんと医療従事者の信頼関係を深め、より質の高い医療が行えるよう、職員一同引き続き鋭意努力していきます。

※ケアプロセス…入院から退院に至る一連の経過

病院機能評価を終えて



VOICE

1病棟9階東 看護師長 濱尾照美

受審準備中に一番に思い出すことは、自己評価を行う中で出ていない部分が幾つかあり、頭を抱える日々が続いたことです。そして病棟スタッフで話し合いの結果「正直

になろう、できていなかったことを明日に繋げよう」と決め、ポジティブに改善へ繋げることができました。また、病棟内では患者さんの安全とプライバシーが保護された環境を考え、改善していったことが印象に残っています。

関わった他職種との距離が縮み、組織が一つの目標に向かっていくという一体感と連帯感を感じました。認定写真を見て、代表病棟となって良かったと改めて思いました。



VOICE

1病棟10階西 看護師長 中野圭子

無事に評価機構から認定書が届いたと聞き、肩の荷が下りました。看護師長として、初めての受審、課題に対するプレッシャー、準備から受審まで本当に大変な日々でした。

関係したスタッフには本当に苦勞・負担をかけましたが、皆さまの真摯な取り組み、姿勢には心より感謝しています。1つの大きな目的に対して、スタッフ一同が団結し、涙ぐましい努力、頑張りを支えられ、これからも共に頑張っていけるという強い手応えを感じることができました。さらなる病院の質の向上を目指し、より良い医療が提供できるように病棟スタッフ全員で取り組んでいきたいと思っています。

4月3日

医学部医学科で 白衣着衣式を行いました

この式典は、平成19年度から毎年、本学医学部医学科同窓会である霜仁会（そうじんかい）から、医学科5年生に白衣が贈られ、これから始まる臨床実習を前に医学生としての決意と自覚を確認するものです。

5年生全員（123名）へ、Student Doctor（医学実習生）認定証と白衣が授与されました。



白衣を身にまとった学生代表

4月24日

ドクターヘリ格納庫が完成しました

このたび、ドクターヘリの格納庫が完成し、4月24日に竣工記念式を開催しました。

本院では、山口県からの要請を受けて、平成23年からドクターヘリの運航を開始し、3年が過ぎました。平成26年3月末現在まで、出動件数693件、診療人数653人となり、県内の救急医療の一翼を担っています。



竣工記念式



完成した格納庫

ドクターヘリは、有視界で運航ができる限り午前8時半から日没まで年間365日、休みない運航を目指しています。これまでは台風の接近や機体の整備のために、他地域への移動を余儀なくされることがあり、その間は出動要請に対応することができませんでした。

格納庫の完成により、天候が回復次第、出動要請に即時対応できるようになりました。

4月28日

防火訓練を実施しました

4月28日、宇部・山陽小野田消防局の指導協力の下、防火訓練を実施し、病院職員や事務職員が参加しました。

火災の初期対応に関するDVD講習が行われた後、レスキュー・キャリアーマットを使用した訓練を行いました。会場内にある屋内消火栓の使用方法的説明後に操作訓練も行い、消火器の操作方法も学びました。



参加者の目は真剣そのもの

清々しい初夏になりました

牛乳とレモン汁でさっぱりチーズを作ってみませんか。
チーズを作る過程でできる乳清でドレッシングも簡単にでき、
野菜にかけるとサラダや酢の物があつという間にできますよ。
さっぱりチーズと和え物でさわやかに
過ごしてみませんか。

「カッテージチーズ」の作り方

◎監修：管理栄養士 有富早苗 福田有子 ◎参考資料：「乳和食」小山浩子著（主婦の友社発行）



材料

牛乳 …………… 500 cc
レモン汁 …………… 大さじ 2 と 1/2

1. 鍋に牛乳を入れて沸かし、沸騰してきたらレモン汁を入れて火を止め、軽くかき混ぜます。
2. 次第に牛乳が固まってくるので、ボウルにペーパータオル（またはぬれふきん）を敷いたザルをセットし、こして出来上がり。これで、およそ 100g のカッテージチーズと 360mL の乳清ができます。



ドレッシング

牛乳が固まったものが「カッテージチーズ」です。
そのまま食べても、サラダのトッピングなどにもできます。
ボウルに残ったものが「乳清」です。
乳清は、美味しいドレッシングに変身しますよ。

和風ドレッシング

乳清：醤油 = 4：1
大さじ 1 で 4kcal、塩分 0.5g
さらにかつお節やごま、しそなどを入れて香り豊かに…

洋風ドレッシング

乳清：マヨネーズ：ケチャップ = 1：1：1
大さじ 1 で 40kcal、塩分 0.3g
まろやかなオーロラソースドレッシングです。

酢の物（1人分）

乳清（50mL）と酢（大 1）、砂糖（小 1）で
合わせ酢をつくる。
輪切り胡瓜（1/2 本）と水戻して絞ったワカメ（10g）、
千切生姜 1g、薄皮を除いた夏みかん（2 房）を
合わせ酢に 15 分漬け込み、器に盛る。
1 人分のエネルギー約 40kcal、塩分 0.2g



胡瓜とわかめの酢の物
（夏みかん入り）



立体駐車場 完成予定図

患者さんへ

外来棟横 立体駐車場 建替えのお知らせ

外来棟横の立体駐車場は、拡張のため建替工事を行っております。

新しい立体駐車場は、駐車可能台数が528台（328台増）となり、患者さんが外来棟に隣接した駐車場を利用できるようになります。また、雨の日でも濡れる事がないように、病院玄関までの歩道に屋根を設置します。

患者さんが利用しやすく、安心・安全な病院を目指して参りますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

工事期間中の患者駐車場は下記ようになります。

●工事期間：平成26年6月12日(木)～平成27年3月31日(火)

ご不便をおかけいたしますが、工事期間中は以下の駐車場をご利用くださるようお願いいたします。

利用可能駐車場

- 第2駐車場(車いす専用14台)
- 第3駐車場
- 体育館裏臨時駐車場

その他 お知らせ

- 車いす専用駐車場は、第2駐車場に設置しています。
- 雨の日は、レンタル傘を用意していますのでご利用ください。
- 患者さんの送迎は、ロータリーをご利用ください。

お問い合わせ

山口大学医学部総務課総務係
TEL0836-22-2111



工事期間中は、第1駐車場のご利用ができません。

お知らせ

中村 哲医師 講演会
～アフガニスタンに生命の水を～

日時 2014年8月9日(土) 開演18:00～
場所 宇部市文化会館
入場料 300円(6歳以下は無料)
定員 500名(事前申し込み可)

●事前申し込み・お問い合わせ…
TEL 0836-36-9555
市民活動センター「青空」
主催/山口大学医学部 国際医療研究会



編集後記

本号より病院だよりのページを増やし、2,000部に増刷。デザインもリニューアルしました。編集も新たにアラサー(?)女子3人組で担当します。女子パワー満載で、大学病院の旬の情報をお届けします。

皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております。
今後読んでみたいテーマ、興味のある記事などお気軽にお寄せください。
FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

企画発行：山大病院だより編集委員会
事務担当：山口大学医学部総務課総務係
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号
TEL 0836-22-2007 URL http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp